

栄三・東一

鶺鴒飼

に魅せられて



加藤 栄三 「鶺鴒(総がらみ)」

2022. 6/28(Tue)–9/11 (Sun)

松井 章 回顧展

2022. 6/28(Tue)–7/24(Sun)



松井 章 「風木」 岐阜新聞社 蔵



稲元 実 「歩拾弑歳」 石川県七尾美術館 蔵

抒情の旋律

稲元 実 日本画展

2022. 7/26(Tue)–9/11 (Sun)

岐阜市歴史博物館分館

加藤栄三・東一記念美術館

〒500-8003 岐阜市大宮町1-46(岐阜公園内) TEL・FAX 058(264)6410

開館時間: 午前9時—午後5時(午後4時30分までにご入館ください)

休館日: 月曜日 [7月18日は開館]、7月19日(火)

観覧料: 高校生以上 310円(団体 250円) 小中学生 150円(団体 90円)

※()内は20人以上の団体料金。

※各種障がい者手帳、難病に関する医療受給者証をお持ちのひとその介護者1人、

市内在住の70歳以上の人は、証明書などを提示すると無料。市内の中学生以下の人は無料。

※家庭の日[7月17日(日)、8月21日(日)]に入館する中学生以下のひと、その家族は無料。

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施しています。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



●37.5以上の発熱、咳、くしゃみなどの症状のある方は入館をご遠慮ください。
●会場の混雑状況では、入館を制限させていただく場合がございます。

松井章 回顧展

2022年 6月28日(火)～7月24日(日)

このたび創造美術、日展で活躍した日本画家：松井章(まつい あきら)の回顧展を開催します。

松井章は1924(大正13)年、岐阜市玉井町に生まれ、1941(昭和16)年、京都市立絵画専門学校(現 京都市立芸大)に入学し、案本一洋、三宅鳳白に指導を受けます。

1944(昭和19)年、招集を受け入隊するも、終戦除隊し京都市立絵画専門学校を繰り上げ卒業します。

1948(昭和23)年、第1回創造美術に「少女たち」を出品し、奨励賞を受賞。1954(昭和29)年東京都練馬区に移住した後、加藤東一、大山忠作らのグループ研究会に入会し研鑽を積みま。1959(昭和34)年、第2回日展に初入選し、日展を舞台に活躍しますが、晩年は既成団体には所属せず制作活動をつづけました。

本展では栄三、東一ゆかりの画家でもある松井章の画業を顕彰します。

松井章 略歴

- 1924(大正13)年 岐阜市玉井町21
紙問屋十代目 松井三治郎 長男として出生
- 1936(昭和11)年 岐阜市立岐阜商業学校入学
美術部に宇野嶺城の指導を受ける
- 1940(昭和15)年 太平洋画展初入選
先輩 加藤三三宅で初顔合わせとなる
- 1941(昭和16)年 京都市立絵画専門学校日本画科
(現 京都市立芸術大学)入学
- 1948(昭和23)年 第1回創造美術展 奨励賞受賞
- 1949(昭和24)年 パンリアル結成
三上誠・下村良之助・星野真吾らと会員になる
- 1954(昭和29)年 東京都練馬区にアトリエ建築移住
- 1959(昭和34)年 加藤東一・大山忠作らの西武グループ研究会入会
第2回日展「海浜に立つ」初入選
- 1965(昭和40)年 岐阜丸物個展(東京在10年)
- 1974(昭和49)年 二和家具貴賓館 個展 岐阜日日新聞主催
- 1975(昭和50)年 インド及びネパールに研修
- 1978(昭和53)年 岐阜高島屋水墨緑人展出品
- 1980(昭和55)年 中国 シルクロードに研修
- 1981(昭和56)年 青柳寺 格天井完成(1982年 襖絵完成)
- 1985(昭和60)年 東京都練馬区立美術館開館記念展「望郷」出品
10月16日 自宅にて急逝

- ① 松井章《織田信長像》
制作年不詳
- ② 松井章《パレー少女》
各務原カントリー倶楽部 蔵
1958年(昭和33)
- ③ 松井章《さすらいびと》
制作年不詳
- ④ 松井章《フランスにて》
制作年不詳



①

②

③

④

抒情の旋律 稲元実 日本画展

2022年 7月26日(火)～9月11日(日)

このたび加藤東一の高弟で日展を舞台に活躍した日本画家：稲元実(いなもと まこと)の回顧展を開催します。

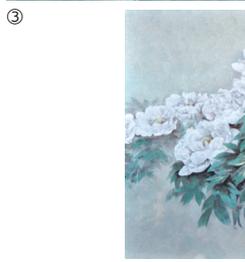
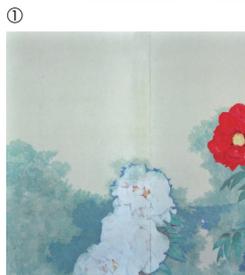
稲元実は1946(昭和21)年石川県七尾市に生まれ、1969(昭和44)年武蔵野美術大学日本画科を卒業して2年後、加藤東一に師事し、日展を舞台に作品を発表し、日本画家として頭角を現していきます。

1978(昭和53)年第10回日展で「壊」が特選を受賞、日本画壇の担い手として将来を嘱望され、平成3(1991)年から日展審査員を務め、2004(平成16)年日展評議員に就任します。題材への敬愛と卓越した描写力で抒情的な画面を創り出し、その幽玄な作品で多くの鑑賞者を魅了し続けてきました。

本企画展では15点ほどの日本画を紹介し、その画業を顕彰します。

稲元実 略歴

- 1946(昭和21)年 石川県七尾市に生まれる
- 1969(昭和44)年 武蔵野美術大学日本画科卒業
- 1971(昭和46)年 加藤東一に師事
第3回日展「裏の道」初入選
- 1978(昭和53)年 第10回日展「壊」特選
- 1981(昭和56)年 第16回日展「睡」日春賞
- 1985(昭和60)年 第17回日展「歩拾弍歳」特選
- 1987(昭和62)年 山種美術館賞展 出品
- 1991(平成 3)年 第22回日展出品作「武蔵野」内閣総理大臣官邸 展示
第23回日展 審査員(以後、1996年、2003年、2008年)
- 1992(平成 4)年 日展会員となる
- 2004(平成16)年 日展評議員に就任
- 2013(平成25)年 8月15日 逝去



①

②

③

④

- ① 稲元実《実のなる頃》
1988年(昭和63)
- ② 稲元実《牽牛花》
1995年(平成7)
- ③ 稲元実《緋牡丹》
1989年(平成元)
- ④ 稲元実《白牡丹》
1989年(平成元)



岐阜市歴史博物館分館
加藤栄三・東一記念美術館
〒500-8003 岐阜市大宮町1-46(岐阜公園内) TEL・FAX 058(264)6410



- 交通案内** JR岐阜駅または名鉄岐阜駅から、長良橋方面行きバスで「岐阜公園・歴史博物館前」で下車(所要時間約15分) 徒歩約5分(岐阜公園内・ロープウェイ駅横)
- 駐車場** 岐阜公園北側の堤外駐車場(有料)をご利用ください。なるべく公共交通機関をご利用ください。

貴方も友の会会員になってみませんか!
**岐阜市歴史博物館
加藤栄三・東一記念美術館
友の会 会員募集**
—文化の時代 心に潤いと豊かさを—
特典

- 会報の配布、各種催しもの案内が受けられます。
- 展覧会などの催しものが無料で何回でも観覧できます。
- 会員の引率する観覧者は団体割引料金になります。